



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社
 コード番号 2108 URL <https://www.nitten.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 法務室長
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 石栗 秀
 (氏名) 草野 考弘
 TEL 03-6414-5527

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	15,366	17.8	502	37.2	741	32.5	492	35.7
2022年3月期第1四半期	13,047	2.5	799	96.8	1,098	69.3	766	76.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 281百万円 (%) 2022年3月期第1四半期 0百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	36.52	
2022年3月期第1四半期	54.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	97,498	67,523	69.3	5,009.20
2022年3月期	100,458	67,918	67.6	5,037.45

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 67,523百万円 2022年3月期 67,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				50.00	50.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	29,000	10.7	1,300	18.8	1,500	20.3	1,100	68.5	81.59
通期	62,000	6.0	1,100		700		500		37.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正につきましては、本日(2022年8月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	15,325,642 株	2022年3月期	15,325,642 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,845,769 株	2022年3月期	1,842,873 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	13,481,485 株	2022年3月期1Q	14,011,404 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)におけるわが国経済は、長期に亘る新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の抑制に加え、ウクライナ情勢等の影響に伴う原材料価格の急騰や急速な円安の進行等、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは第一日甜グループ中期経営計画の最終年度を迎えましたが、砂糖消費の低迷に加え、エネルギーコストの高騰等により、目標とする利益の達成が極めて厳しい見込みとなっております。そのため、コスト削減を推し進めるとともに、販売促進等に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、主に砂糖事業及び飼料事業の売上の増加により、前年同期比17.8%増の15,366百万円となりましたが、経常利益は、飼料事業の減益等により前年同期比32.5%減の741百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比35.7%減の492百万円となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

<砂糖事業>

砂糖セグメントの売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいるビート糖の販売数量が回復傾向にあること等により、前年同期比22.4%増の10,669百万円となりましたが、製造コストや運送費の増加等により、セグメント利益は前年同期比21.7%減の289百万円となりました。

<食品事業>

食品セグメントの売上高は、オリゴ糖等食品素材の売上増加等により、前年同期比8.9%増の615百万円となりましたが、製造コストの増加により損益が悪化し、3百万円のセグメント損失(前年同期は6百万円のセグメント利益)となりました。

<飼料事業>

飼料セグメントの売上高は、穀物相場の影響を受けて配合飼料の販売価格が上昇したことにより、前年同期比9.0%増の2,415百万円となりましたが、原材料価格急騰の影響が大きく、130百万円のセグメント損失(前年同期は121百万円のセグメント利益)となりました。

<農業資材事業>

農業資材セグメントの売上高は、農業資材やそ菜用紙筒(移植栽培用育苗鉢)の販売数量の増加等により、前年同期比11.1%増の994百万円となり、セグメント利益は、前年同期比16.3%増の108百万円となりました。

<不動産事業>

不動産セグメントの売上高は、前年同期並の381百万円となり、セグメント利益は、経費削減により、前年同期比7.4%増の246百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業の売上高は、石油類の販売価格上昇等により、前年同期比6.0%増の289百万円となり、営業損失は、51百万円(前年同期は61百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2,960百万円減の97,498百万円で、このうち流動資産は、主に棚卸資産の減少により前連結会計年度末比3,024百万円減の51,927百万円となり、固定資産は、前連結会計年度末比64百万円増の45,571百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比2,564百万円減の29,975百万円で、このうち流動負債は、主に短期借入金の減少により前連結会計年度末比2,374百万円減の20,252百万円となり、固定負債は、前連結会計年度末比190百万円減の9,722百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末比395百万円減の67,523百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。なお、通期連結業績予想につきましては、変更していません。詳細は、本日（2022年8月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,160	5,691
受取手形及び売掛金	7,329	8,656
有価証券	6,000	5,000
商品及び製品	27,616	22,686
仕掛品	3,284	653
原材料及び貯蔵品	2,996	5,468
その他	1,571	3,776
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	54,952	51,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,362	11,233
その他（純額）	12,245	12,735
有形固定資産合計	23,607	23,969
無形固定資産		
	425	416
投資その他の資産		
投資有価証券	19,809	19,526
退職給付に係る資産	1,502	1,508
その他	162	151
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	21,473	21,185
固定資産合計	45,506	45,571
資産合計	100,458	97,498

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,749	4,571
短期借入金	14,663	8,661
未払法人税等	954	231
その他	5,259	6,787
流動負債合計	22,626	20,252
固定負債		
長期借入金	226	195
役員退職慰労引当金	24	9
退職給付に係る負債	4,499	4,485
その他	5,162	5,031
固定負債合計	9,913	9,722
負債合計	32,540	29,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,416	8,416
利益剰余金	44,934	44,752
自己株式	△3,528	△3,531
株主資本合計	58,101	57,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,367	9,157
繰延ヘッジ損益	3	8
退職給付に係る調整累計額	446	440
その他の包括利益累計額合計	9,816	9,606
純資産合計	67,918	67,523
負債純資産合計	100,458	97,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	13,047	15,366
売上原価	9,250	11,528
売上総利益	3,797	3,837
販売費及び一般管理費		
販売費	2,206	2,555
一般管理費	791	779
販売費及び一般管理費合計	2,997	3,335
営業利益	799	502
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	308	294
持分法による投資利益	11	8
その他	24	25
営業外収益合計	345	328
営業外費用		
支払利息	31	34
固定資産処分損	10	46
その他	5	9
営業外費用合計	47	90
経常利益	1,098	741
特別利益		
投資有価証券売却益	-	3
特別利益合計	-	3
特別損失		
固定資産処分損	7	13
その他	-	0
特別損失合計	7	13
税金等調整前四半期純利益	1,090	731
法人税等	324	239
四半期純利益	766	492
親会社株主に帰属する四半期純利益	766	492

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	766	492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△771	△209
繰延ヘッジ損益	△2	4
退職給付に係る調整額	7	△5
その他の包括利益合計	△766	△210
四半期包括利益	△0	281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△0	281
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	8,719	565	2,216	895	378	12,774	273	13,047
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50	5	3	13	31	104	1,277	1,382
計	8,769	570	2,219	909	409	12,878	1,551	14,430
セグメント利益 又は損失(△)	369	6	121	93	229	821	△61	760

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	821
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△61
セグメント間取引消去	39
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	799

II 当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,669	615	2,415	994	381	15,076	289	15,366
セグメント間の内部 売上高又は振替高	59	6	4	4	31	105	3,133	3,238
計	10,728	621	2,419	999	412	15,181	3,423	18,605
セグメント利益 又は損失(△)	289	△3	△130	108	246	511	△51	459

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	511
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△51
セグメント間取引消去	42
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	502